

ICTAM 2024での発表



目で見る
海外論文発表

岩下 航*

Presentation at ICTAM 2024

Key Words : Friction law, Slip nucleation, Surface design

<参加会議名> The 26th International Congress of Theoretical and Applied Mechanics (ICTAM 2024)

<開催場所> テグ、大韓民国

<渡航期間> 2024年8月25日~2024年8月31日

<発表タイトル> Roles of waviness and groove in control of stiction and slip nucleation

この度、大韓民国で開催されたICTAM 2024に参加しました。本会議は、第1回大会が1924年にオランダで開かれてから100周年を迎える歴史のある発表会議でした。力学が重要な役割を果たす基礎および応用科学・工学の幅広い分野が取り上げられ、世界中から数多くの研究者が参加していました。私の経験の中では、過去最大規模の学会で、配布されたスケジュールブックは辞書のような厚さで驚きました。

私はTribology-contact and frictionのセッションで、昨年度の後期にスイスのETH Zurichに交換留学したときに行った、物体表面形状の設計による摩擦と滑りの制御に関する研究の発表を行いました。共著者のProf. D.S. Kammerも本会議に参加していたため、約半年ぶりの再会を果たしました。発表を通して、分野の第一人者である研究者らと議論を行うことができました。また、様々な研究者らの発表から、最先端の研究のアイデアも学びました。



* Wataru IWASHITA

1997年8月生まれ
大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻 (2022年)
現在、大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻 流体力学グループ
博士後期課程3年 修士(工学)
専門/摩擦
TEL : 06-6850-6192
E-mail :
w_iwashita@fm.me.es.osaka-u.ac.jp

隣国での開催ということもあり、私の研究室からも多くの教員と学生が参加したため、一週間楽しく過ごすことができました。空き時間には韓国料理や街の雰囲気を楽しむことができました。公共交通や治安も良く、快適な生活でした。

最後に、本学会の発表にあたり多大なるご支援を賜りました生産技術振興協会に厚く御礼申し上げます。



発表の様子



共著者との再会



所属研究室の教員・学生・OBの参加者との記念撮影